

せいけん 詩集 第一百
八篇

近藤せいけん

「ターチの挑戦 その1」

小田急線本厚木駅 徒歩2分の

会社に通うごく普通の会社員

今朝は朝一番の電車で駅に

降り立つ 初夏の駅前広場はまだ

人はまばら ふと立ち止まり

青く晴れ上がった空を見上げる

ふとため息

「なぜ おれの生活はいつまでも

上向かないんだろう・・・」

「いつまでも 貧乏なのだろうか・・・」

「いつまでも 不幸せなんだろうか・・・」

「天よ おれが何をしたらって 言うのか・・・」

どうしてだ・・・ 天よ答えてくれ・・・」

力無く ベンチに座った

その時 突然 心に響いた

「おまえは 本当に自分の生活を向上せたい

貧乏から抜け出した

幸せになりたいと思ってるのか」

「えええ あなたは誰ですか？」

「ハハハ おまえが私を呼んだ」

